

★ ラインナップ ★

カンポ・デル・シエロ (Campo Del Cielo) 隕石 ~空から降ってきた太陽系のかげら~
 安倍晴明史跡めぐり 其の四

阿部晴明の墓 蘆屋道満の墓 道満池の坊主岩
 倫敦(ロンドン)博物館めぐり その4(最終回)

◆ カンポ・デル・シエロ(Campo Del Cielo)隕石

~空から降ってきた太陽系のかげら~

今年の夏休み、博物館に隕石がやってきました。

隕石とは、太陽系の天体の破片などが地球へと落下してきたものです。その大部分は、火星と木星軌道の間で多数分布する“小惑星”と呼ばれる小天体のかげらであると考えられていますが、なかには、火星や月からやってきた隕石も、わずかですが見つかっています。

隕石には、地上にころがる岩石のようなもの(“石質隕石”)、金属(主に鉄やニッケル)を多く含むもの(“鉄隕石(隕鉄)”)、石と金属とが交じり合ったもの(“石鉄隕石”)と、その成分によって大きく3つの種類があります。



カンポ・デル・シエロ隕石
 (コニカミノルタプラネタリウム株式会社)

この夏休み期間に特別展示している隕石は、コニカミノルタプラネタリウム株式会社よりお借りした“カンポ・デル・シエロ”と呼ばれるアルゼンチン共和国のチャコ州に落下した隕石です。鉄92.5%、ニッケル6.68%と、鉄とニッケルがその大部分を占めることから、“鉄隕石”に分類されています。

この隕石が発見されたのは1576年のこと。この地には、古くから「空からたくさんの鉄が落ちてきた」という話が伝えられていたそうです。その話を聞いたスペイン総監が現地へ調査隊を派遣し、いくつかの隕石の塊を掘り出して持ちかえたとされています。

隕石には、太陽系ができた頃の様子を知る手がかりが隠れています。

ぜひこの機会に、ホンモノの隕石を見に来てくださいね！

博物館日記

第3話「七夕の願い」



刺されたところが早く治りますように
 とくん

メモ！

もともと七夕は、現在私たちが使っている暦に変更される前、旧暦の7月7日に行われていた行事です。それによると、今年の七夕は8月7日。皆さんも、願いをこめて星空を眺めてみてください。

安倍晴明史跡めぐり 其の四

今回は、浅口市金光町にある安倍晴明と蘆屋道満のゆかりの地について紹介していくことにしましょう。

■ 阿部晴明の墓



阿部晴明の墓

金光町占見の宮東地区の民家裏手に、安倍晴明の墓があります。石塚には、「晴明霊墳」と刻まれてあり、安倍晴明の遺物が埋蔵されていると伝えられています。

近世の頃、安倍晴明は陰陽師の象徴的存在として全国の陰陽師たちに崇拝され、各地に晴明の墓が作られるようになりました。この墓もそれらの一つと考えられています。

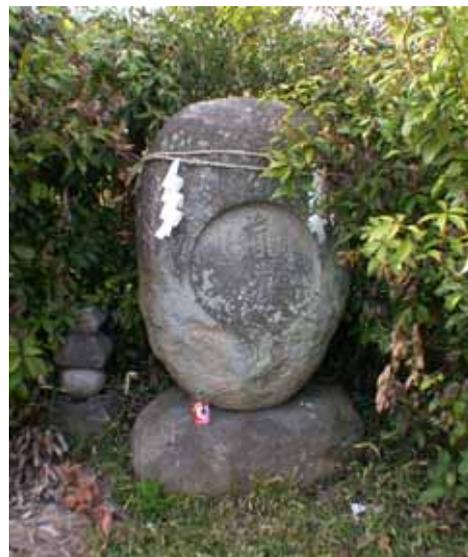
お墓の横に立てられている看板には、「阿部晴明の墓」と記されているので、ここでも「阿部晴明の墓」と記しています。

■ 蘆屋道満の墓

「阿部晴明の墓」から南東に150mほどのところに蘆屋道満の墓があります。そして、道満の墓のまわりの畑は道満屋敷と呼ばれています。

宿命のライバル同士である安倍晴明と蘆屋道満のお墓がすぐそばにある、というのは不思議な印象を受けるかもしれませんが、安倍晴明のゆかりの地の近くには、蘆屋道満にまつわるものが伝えられていることが多く、この墓もそのひとつにあげられます。

二人の伝説が各地に伝えられるようになったのは、中世の陰陽師やしゅげんじゃ やまぶし かつどう えいきょう 修験者(山伏)の活動の影響と考えられており、これらのことから浅口市においても、こうした人たちの活動が盛んであったことがわかります。



蘆屋道満の墓

■ 道満池の坊主岩

「阿部晴明の墓」から北に200mほど行った山の中に道満池があります。池の北側のほとりには、高さ7m、直径6mほどの岩があり、坊主頭のように見えることから坊主岩と呼ばれています。この岩には蘆屋道満にまつわる伝説が伝えられています。

坊主岩には、いつの頃からか金色に輝く山鳥がどこからともなくやってきて、止まり続けるようになりました。山鳥は評判となり、多くの見物人が押しかけるようになりました。そのことを聞いて不思議に思った国司(浅口地域を治めていた役人)は、蘆屋道満に山鳥のことを占ってもらおうと、道満は「村に悪いことが起こる

ぜんちょう
前兆である」という結果を出しました。それを聞いた村人た
ちはおどろのぞのぼくは
ちは驚き、岩を取り除くために爆破させました。岩はまっぴた
つに割れ、どくどくと真っ黒な血が流れ出ました。それから
金色の山鳥の姿はなくなり、村にも何も起こりませんでした。

この伝説の蘆屋道満には、安倍晴明に戦いを挑んだ悪役と
いうイメージがないところも興味深いといえるでしょう。



道満池の坊主岩

アクセス方法

阿部晴明の墓、蘆屋道満の墓、道満池の坊主岩

- いずれの場所も金光町占見の大宮神社から徒歩15～20分です。大宮神社には看板がでていますが、それを頼りに探してみてください。

倫敦(ロンドン)博物館めぐり その4

戸田 博之(国立天文台岡山天体物理観測所)

9月20日夜、ロンドン着。翌21日、大英博物館、帝国戦争博物館、22日は国立陸軍博物館、自然史博物館、科学博物館とめぐる。最終日9月23日はロンドン郊外のグリニッジ地区に向かう。

朝、大英博物館近くのホテルをチェックアウト。荷物をホテルに預かってもらって地下鉄の駅に向かう。ロンドンの地下鉄料金は高い。1回乗ると距離にかかわらず1000円くらいかかるが、1日乗車券だと約1300円。この1日乗車券は地下鉄だけでなく、ロンドンのバスや旧国鉄路線も利用できるのが便利だ。最終日はグリニッジ地区と空港に行くので、乗車範囲の広い約1700円の1日券を買った。地下鉄で2日前に行ったロンドン塔の近くの駅まで行き、ドックランズ・ライト・レイルウェイに乗り換える。この列車には運転手も車掌も乗っていない。そして、駅の改札は無人…そもそも改札のようなものさえない。どうすればいいのかわからなくて、目の前に止まっていた列車に乗れなかった。こういう時は現地人にならう。みんな、何することもなく列車に乗り込んでいた。切符はもっているのだから、自分も間違った乗り方をしていないと信じて列車に乗り込む。途中1回乗り換え、テムズ川をくぐって最初の駅で降りる。ガイドブックによると、グリニッジ地区はイギリスの海の玄関口であった街だと書いてある。海はロンドンから数10km離れているのに変な話だ。グリニッジ地区のテムズ川を挟んで北側にはドックランズという地区がある。「ドック」のあった場所だ。外洋船がテムズ川を行き来していたのか？不思議な話だけど本当らしい。海の玄関口というだけあって、グリニッジ地区には王立海軍大学や国立海洋博物館などがある。

グリニッジ天文台へ向かう途中にある国立海洋博物館の中を通り抜け…折角なので一応一通り見学して裏口に出た。



< 国立海洋博物館 >

国立海洋博物館の南の丘の上にグリニッジ天文台がある。芝生の中の道を丘の上にあるグリニッジ天文台を目指して登っていく。この日が日曜日ということもあってか、人通りは多い。やっと丘の上のグリニッジ天文台にたどりつく。入場料は無料(寄付)なのだが、なぜか入り口で入場券をもらった。今では「グリニッジ子午線」「グリニッジ標準時」で知られるグリニッジ天文台だが17世紀に設立されたころは、航海のための星図を作ることが仕事だった。だから、海の玄関口のグリニッジにこの天文台が建てられたのだろう。現在、グリニッジ天文台での天体観測は終わり、天文台は博物館となり、望遠鏡たちは展示物となっている。



まあとにかく時間がないので急いで見学をする。建物の中の多くの場所は写真撮影が禁止だったので71cm 屈折望遠鏡やグリニッジ子午線上にある子午儀などの写真は撮影できなかった。いくつかの狭い展示室には、標準時の天文台だけあって時刻や時計の展示が多くあった。ミュージアムショップにも時計が売られていた(高そうな物もあった)。歴史的な展示とは対照的に別の建物

にはプラネタリウムや現代の天文学を紹介するコーナーもあった。



一通り見学して中庭へもどる。中庭の地面には少し色落ちした赤い線が書いてある。多くの人がここで写真を撮っていた。赤い線はグリニッジ子午線で、これをまたいで記念写真を撮っている人もいた。ということで、自分も本初子午線をまたいで記念写真を撮る。

グリニッジ天文台には13時まで滞在と決めていた。13時になると、天文台の塔にあるタイムボールという赤い球が落下するらしい。これを見てグリニッジ天文台を後にすることになっていた。13時少し前、赤い球がするすると上がっていく…13時、鐘か何か合図があるのかと思っていたら、赤い球はスッと静かに落下。。3日間のロンドン博物館巡りの締めくくりは、あまりにもあっさりしたものだった。



(おわり)

< 編集後記 >

夏を飛び越えて、秋のイベント準備中です。新たな試み、楽しみにしててくださいね！ Yumi

今回は浅口市金光町にある安倍晴明と蘆屋道満ゆかりの地を紹介しました。

いずれも分かりにくい場所にありますが、地図を片手に現地を訪れてみてください。 Kabu

8月1日の日食、中国へ見に行きます！ peg

我が家の可愛い梅の実で梅干を漬けました。梅を食べて、暑い夏を乗り越えたいです！！ KIYO

ようやく友人の野球チームが立ち上がりました。ユニフォームも揃えて、いざ、試合へ！

野球にフットサルと、運動後の一杯は、夏の最高の楽しみっすね tomo

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 秋号は 9月ごろ 発行予定です。

岡山天文博物館 浅口市鵜方町本庄 3037-5 TEL・FAX : 0865(44)2465 休館日 : 月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ URL <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>